

2026年度 美術科教育学会リサーチフォーラム in 東京・成城

2026 9月19日(土)
13:00-17:00

対面・オンラインの同時開催

費用

無料

栗津 謙吾（成城学園初等学校）
菊地 虹（立教大学教育学専攻博士後期課程）
小西 悟士（さいたま市立大久保中学校）
斉藤 洋介（横浜国立大学附属鎌倉小学校）
辻 大地（大阪成蹊大学）
村田 透（滋賀大学）

教科教育としての

それ以外の

造形遊びの

会場

成城学園初等学校

東京都世田谷区祖師谷 3-52-38

最寄り駅 小田急線 成城学園前駅

教科教育としての

それ以外の

造形遊びと、

高学年の造形遊びを手がかりに、造形遊びのもつ経験的な学びの豊かさを、図画工作科の教科教育における系統性や、特別活動などの他領域や、総合的な学習の時間などの他教科との関係の中でどのように接続して捉えることができるのか、その実態の一部を明らかにすることを目的とします。

本フォーラムは、高学年の造形遊びをめぐる未整理の論点を、授業映像の分析を起点に、評価のズレ、カリキュラム上の位置づけ、制度的課題へと接続しながら検討します。

実践解明



高学年の造形遊びを映像から読む高学年における造形遊びの授業映像を共通資料として視聴し、子どもの行為の変化、教師の関与、場・材料・時間の条件に着目しながら、授業の構造と展開を読み解く。ここでは、活動の表面的な様子ではなく、造形遊びがどのような学びとして成立しているのかを、実践の具体から捉える。

三者比較



授業者・参観者・子どもの見方を重ねる同一の授業場面に対して、授業者の見取り、参観者の見取り、子どもの自己評価・振り返りを提示し、その重なりとズレを検討する。評価の比較を目的化するのではなく、どのような場面で見方が分かれ、何が見取られ、何が見落とされるのかを通して、高学年の造形遊びの成立条件と未整理の論点を可視化する。

カリキュラム論の検討



高学年における位置づけを問直す映像分析と三者比較を踏まえ、高学年の造形遊びを図画工作科の中でどのように位置づけるべきかを検討する。とりわけ、造形遊びのもつ経験的な学びの豊かさを、図画工作科における系統性、絵・立体・工作との連続性、他教科との関係の中でどう接続して捉えるかを論点とする。

対話と提言



校種を超えて、制度と実践へ返す。小学校現場の実践者に限らず、研究者、他校種の教育実践者など、校種を超えた多様な立場の登壇者・参加者による対話を通して、高学年の造形遊びをめぐる論点を多面的に深める。そこから、今後のカリキュラム論、実践上の課題、制度的課題へのボトムアップの提言を試みる。

Program

※当日の進行状況により、内容が変更となる場合があります。

13:00	I部	開式
13:10	高学年の造形遊びの実態と可能性	造形遊びの授業動画視聴
13:30		授業実践者による発表
13:45		箱庭的フレームによる読み取り
14:15		ディスカッション・質疑応答
14:55		休憩
15:10	II部	総合・特別活動への展開
15:25	教科教育としての造形遊びとそれ以外の造形遊び	造形実験の実践報告：中学校の教科内外から
15:45		研究の整理と理解
16:10		ディスカッション・質疑応答
17:00		閉会

2026年 9月19日(土)

13:00-17:00

対面・オンラインの同時開催

会場での対面参加と、オンラインでのライブ配信視聴のハイブリッド形式で開催いたします。

ご都合に合わせて、どちらかの参加方法をお選びください。

対面参加	定員 100名
オンライン参加	無制限

主に図工・美術科教育に携わる専門家を対象とした内容ですが、経験やご所属、年代を問わず、教育や美術に関心をお持ちの方のご参加を歓迎いたします。

美術科教育学会の会員・非会員を問わずご参加いただけます。



申し込み方法

ご参加いただくには、Peatixでの事前登録が必要です。下記のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

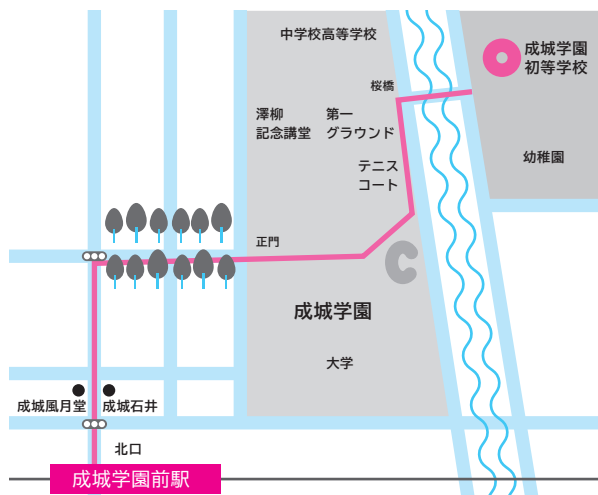
<https://forum20260919.peatix.com>



※先着順・定員に達し次第、受付を終了させていただきます。
※Peatixのアカウント登録(無料)が必要となります。
※お申し込み後、登録完了メールが届きます。

お問い合わせ先 栗津 謙吾(成城学園初等学校) awumemio@gmail.com

Access 会場までのご案内



成城学園初等学校

東京都世田谷区祖師谷3-52-38

最寄り駅 小田急線 成城学園前駅



<< google map